



トップスニュース

Vol.113

1月25日

加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ広島



ワクナガレオリック



イズミメイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本
ソフトテニス部



中国電力
陸上競技部



中国電力陸上競技部



コカ・コーラ
レッドスパークス ホッケー部



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒734-0007

広島市南区皆実町2-8-42

猫田記念体育館1F

TEL: 082-254-2012

FAX: 082-251-5712

URL: www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



前人未到! 10連覇!!

優勝を決めた

広岡・長江ペア

12月5日(木)～8日(日)に行われた「第37回ソフトテニス日本リーグ」にて、NTT西日本ソフトテニス部が、前人未到の記録をさらに伸ばす「10連覇(通算24回目の優勝)」を成し遂げた。優勝決定戦の最終戦(ヨネックス戦)では、相手に8本ものマッチポイントを握られる苦しい展開となったが、そこから怒涛の追い上げで逆転勝利を収めた。優勝を決めた最後のポイントのあと、広岡・長江ペアのもとにメンバーが駆け寄り、健闘を称えあう姿が印象的であった。チームの勢いはさらなる加速をみせる。2020年もNTT西日本ソフトテニス部の活躍に目が離せない。



技術の伝播

12月14日(土)、恒例イベントの「NTT ドリームキッズふれあいソフトテニス教室」が滋賀県と長崎県の2会場で開催された。長崎の会場では、たくさんの中学生や子供が参加し、選手のプレーを間近で見たり、選手から直々に指導を受けたりなど非常に有益な時間になっていた。滋賀の会場には中学生選抜の16名が集まった。終盤には選手とのエキシビジョンマッチが行われ、プロのプレーを体感するなど、実りのある時間となっていた。今後もこのような活動が行われることで、スポーツ界のさらなる発展に期待したい。



サンフレッチェ広島から聖火ランナー!

12月17日(火)サンフレッチェ広島のアmbasadorを務める森崎浩司氏が、東京2020オリンピック聖火リレーの聖火ランナーに選出されたことが発表された。森崎氏は、自身もオリンピックとして、2004年アテネオリンピックに出場している。今回は聖火ランナーとしての選出について「選出していただいて非常に光栄で、率直にうれしい。自分自身もそうですが、自分だけでなく家族や周りの方々が大変喜んでくれた。選出していただいたことに感謝し広島県の思いを胸に走りきる。」と意気込みを語っている。また自身も出場はしても、オリンピックを観戦する機会はこれまでもなかったことから「オリンピックで、サッカーだけでなく色々な種目に注目しているし観戦してみたい。特に陸上競技を観戦してみたい」と、広島出身の山縣選手の出場が期待される陸上競技を注目に挙げた。

広島での聖火リレーは、5月18日と19日の2日間にわたって、東京1964オリンピック競技大会の開会式で、最終聖火ランナーを務めた坂井義則氏の出身地である三次市を出発し、平成30年7月豪雨による災害からの復興の歩みを進める県南部、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された平和記念公園や、日本三景の一つであり、世界遺産である厳島神社を有する宮島などを回る。東京2020聖火リレーのコンセプトは、Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。である。森崎氏をはじめ、広島をつなぐ聖火ランナーの皆様には、スポーツ王国広島、平和都市広島の思いをつないでいただきたい。そして、私たちもオリンピックの象徴である聖火を実際に見届け、オリンピックへの機運を高めていきたい。



©2019 S.F.C

聖火ランナーの森崎氏



ホッケーを広めよう!!「ホッケー教室」

2019年12月17日(火)広島市立倉掛小学校において、6年生28名に対しコカ・コーラレッドスパークスホッケー部による、ホッケー教室が開催された。

初めてホッケーを体験するということで、子供たちは前日にレッドスパークスのウェブサイトではルール等を見てホッケーの予習をしたそう。

ホッケー教室では男女に分かれスティックの持ち方から、ドリブル、リフティング、シュート練習を行い最後には試合を行った。選手たちも笑顔で子供たちに指導をしていた。

子供たちは終始元気がよく、一生懸命に取り組み、特に最後の試合では選手も驚くほどの白熱ぶりだった。

普段から関わる事が少ないホッケーではあるが、めずらしいスポーツを体験し、なおかつトップスポーツ選手から指導してもらえたことは子供たちにとって、とても価値のある時間だったに違いない。

ホッケーのさらなる普及と、子供たちへスポーツの楽しさが伝わった事を期待する。

スティックの持ち方、
使い方を教えている姿



シュート練習!



首位を迎えてのホーム戦

1月11日(土)、に広島グリーンアリーナでJTサンダーズ広島の試合が行われた。11日は首位パナソニックとの試合は、2020年初の広島での開催とあり多くの観戦客がグリーンアリーナに集結した。JTサンダーズは日本代表小野寺選手、山本選手のアタックなどで勢いに乗る。しかし、徐々に押し込まれてしまい、最後まで接戦になったが首位パナソニックに敗戦してしまった。

試合会場周辺では、イベントブースが開催された。今年から配信されたVR体験では、実際にコートに入った気分を体験できた。選手との距離も至近距離でバレーを見ることができ、子供から大人まで幅広い年齢の人達がたくさんの笑みを浮かべながら楽しそうに体験していた。フォトジェニックブースでは、写真映えを狙った来場記念写真を撮ることができた。写真撮影の際は公式ユニホームやマフラータオル、ボールなどチームグッズを自由に使うことができ、子供達はたくさんあるグッズの中から選ぶのにとっても迷っている姿も見られた。また、実際に使用されているチーム専用バスを見学することができ、試合後にはプレゼントの投げ込みが行われた。

試合以外にも子供だけでなく大人まで楽しめるイベントであった。Vリーグでは首位追撃に期待したい。



選手、観客、会場一体となり得点!



エキキタまちづくり一斉清掃に参加



近隣町内の方々と笑顔でパシャリ

12月20日(金)、毎月恒例のエキキタまちづくり一斉清掃が広島駅新幹線口周辺地区で行われた。イズミメイプルレッズから新人選手の山根楓選手、村松沙耶選手、斗米菜月選手が参加し近隣町内の方々と清掃を行ないながら交流を深めた。

このエキキタまちづくり一斉清掃は、エキキタまちづくり会議・尾長地区連合町内会が中心となり、毎月1回行われている。この活動には近隣町内の方々や企業の方々が参加し掃除用具を片手にゴミや落ち葉などを拾った。この活動に初参加の3選手は、終始笑顔で活動をしなが地域の方々と交流をしていた。清掃後の町はピカピカになり参加された近隣町内の方々も笑顔であふれていた。



新入団選手が意気込みを語る！

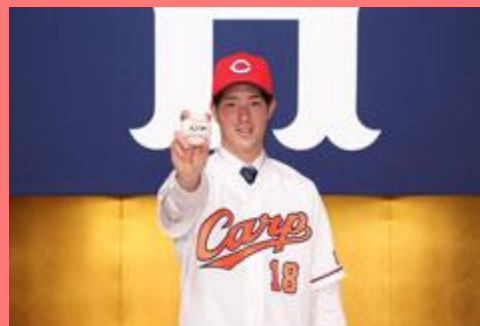
12月9日(月)に新入団選手発表が行われた。2019年のドラフト1位で指名された明治大学の森下暢仁投手は「もっとストレートに磨きをかけて空振りをとれる選手になりたい。背番号18番は佐々岡監督や、前田健太投手もつけていた番号なのでとても重みのある背番号だと思っています。ありがとうございます。」と意気込みを語った。

ドラフト2位の宇草孔基外野手は「ファンの皆様の応援が熱いという印象が一番あります。」とカープファンの印象を語った。ドラフト3位の鈴木寛人投手は、対戦してみたい打者に巨人の坂本勇人内野手を挙げた。今シーズンのルーキーには目が離せない。

ドラフト指名された選手



ドラフト1位森下選手



県知事と下田選手の懇談！

12月24日、広島県庁にて湯崎県知事とトップス広島に加盟しているチームの選手との昼食懇談会が行われた。

広島ガスバドミントン部からは下田選手が参加した。知事の挨拶から始まり、現状報告やチームや個人での成果について話していた。時折、笑顔が出る場面もあり和やかに進んでいった。

「どうして選手になれたのですか?」の質問では、地域や町が盛んであったことなどがあげられた。下田選手は、もともとスポーツが好きであり気軽にできるスポーツを考えたところ、近くの公民館でバドミントン教室を見つけたことがバドミントンを始めたきっかけだという。また、仕事と選手活動の両立は大変ではないのかという問いには「そんなことはなく、むしろよい気分転換になっており、リラックスして選手活動に集中することができている」と語っていた。下田選手の今年の活躍にも期待がかかる場所である。



画像左奥の黄色のユニホームが下田選手

第 64 回ニューイヤー駅伝

1 月 1 日(水・祝)、群馬県庁(群馬県前橋市)を発着点とする、7 区間 100.0km を全 37 チームが競う、第 63 回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)に、中国地区代表として挑んだ。

1 区北魁道選手と 2 区キムタイウェスリー選手は駅伝の流れに乗れず、2 区終了時点で 36 位と大きく遅れてしまいます。3 区は前回に続き主将の藤川拓也選手。6 人抜き追い上げ開始。各チームのエースがそろそろ 4 区では、岡本直己選手が区間 6 位の好走を見せ、さらに順位を上げた。続く 5 区の松井智靖選手、6 区森本卓司選手ともに順位を上げてアンカー(7 区)の清谷選手へ。22 位でタスキを受けた清谷匠選手は区間 2 位の圧巻の走りで猛追。一時 17 位まで順位を上げますが、最後は 19 位でゴール。前回大会の 9 位から大きく順位を落としてしまった。今回は序盤の出遅れが最後まで響くかたちとなったが、3 区以降全員でその遅れをカバーする選手たちの絆や、諦めない姿は、駅伝ファンや、広島の人たちだけではなく、多くの人たちを元気づけたに違いない。



圧巻の走りを見せた
7 区清谷選手



輝け!未来の子供たち!

香川県・岩手県でハンドボール教室が開催されました!

12 月 15 日(日)に香川県 CERASAS 長尾、岩手県矢巾フェニックスへ指導に行った。今回、指導を受けた 2 チームは、湧永製薬が 6 月に実施した「2019 年ハンドボール応援キャンペーン」にて A 賞に選ばれたチームだ。当日、香川県に稲毛選手、矢田選手、西田選手、岩手県に谷村選手、荻原選手、樋川選手が訪問し、熱い指導を行った。ボールをもらう前の動作でもあるオフザボールの動きやシュートテクニックのコツを選手から直接指導を受けた。これからもハンドボールを通じて、「スポーツの面白さ」や「チームで団結することの大切さ」そして「努力することのすばらしさ」を子供たちに伝えていきたいと語った。



コツを掴もうと真剣に聞く子供たち

お知らせ

トップスポーツ観戦ラリー 参加者募集!



トップス広島加盟 2 チームの試合を観戦してサインボールなどチーム関連商品をゲットしよう!

5 チーム観戦でサイン入りレプリカユニフォーム等が当たる「GOGO トップス広島賞」のチャンス!

【対象】小学生以上 【対象期間】 2019/4/1~2020/3/16

【応募方法】対象期間の観戦チケット半券または観戦証明書(トップス事業参加証明書)を所定の用紙に 2 または 5 チーム分貼付け、区スポーツセンターまたはスポーツ協会事務局へ

【応募締切】2020 年 3 月 23 日(月) ※詳しくはトップス広島ホームページにて



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

「スポーツを通じた社会貢献」

私たちトップス広島は、すべての広島の人々に対して

- ✓ **さまざまなスポーツに接する機会をつくり**
- ✓ **する人・みる人・支えている人、すべての人々と感動を分かち合い**
- ✓ **スポーツの素晴らしさや楽しさを伝え**
- ✓ **「スポーツ王国ひろしま」の実現と地域の活性化に貢献するために**
- ✓ **トップレベルの選手や団体によるスポーツの普及、指導、育成等の事業を行い**
- ✓ **スポーツを通じた社会貢献に寄与すること**

を目的として活動しているNPO法人です。



スポーツを通じた社会貢献 賛助会員募集

スポーツを通じた『社会貢献活動』への 貴社・団体様の参画!

温かいご支援の一つひとつが、夢と潤いのある「スポーツ王国ひろしま」への力となります。スポーツを通じた社会貢献へ継続的に寄与していくため、当NPO法人の事業目的に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。多くの皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けてまいりますと存じます。

お力添えくださいますよう、心からお願い申し上げます。

■年会費(企業・団体様)

一口**50,000**円(何口でも可)

■振込先

広島銀行 本店営業部

口座名: 特定非営利活動法人 広島トップスポーツクラブネットワーク

理事長 松田 眞二

口座番号: 普通預金 2774313

ご支援いただいている賛助会員様

RCC中国放送

株式会社RCC文化センター
学校法人石田学園
有限会社伊藤久芳堂
株式会社インバルスコーポレーション
株式会社NTTDコモ 中国支社
広島建設株式会社 中国支店
株式会社桐原容器工業所
呉市
呉バレーボール協会
有限会社C&C安田
シンコースポーツ株式会社 中国支店
セキスイハイム中四国株式会社
広島支社
医療法人せのがわ
株式会社体育社
竹原市
株式会社千鳥
中国ジェイアールバス株式会社
株式会社中国新聞社
株式会社中国新聞広告社

TSSテレビ新広島

株式会社ハークスレイ
(ほっかほっか亭)
株式会社広島朝日広告社
広島菅公学生服株式会社
広島信用金庫
広島テレビ
広島ホームテレビ
株式会社ヒロタニ
公益財団法人福山市スポーツ協会
平安堂梅坪
株式会社ボブラ
特定非営利活動法人ボラーノ
前田食品
(マリーナロッジ BIG FLAG)
株式会社マリーナホッププロパティ
ミサワホーム中国株式会社
株式会社メディカルイン
株式会社モルテン広島・四国支店
株式会社有文社
株式会社社良和ハウス

(50音順/2019年12月末時点)

トップス広島支援自販機 オーナー募集中!!

トップス広島では、支援自販機を設置させていただき、売上の一部をトップス広島の支援金とさせていただきます。「トップス広島支援自販機オーナー」を募集しております。



目的 売上金収入により活動の拡大を図り、さらなる「スポーツを通じた社会貢献」に寄与する。

対象 トップス広島、および広島県のスポーツを応援していただける企業・団体・一般の方。
※ロケーション、採算性等の条件により設置いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

支援自販機について、詳しくは下記までお問い合わせください。

私たちの名前=トップス広島

正式名称: NPO法人広島トップスポーツクラブネットワーク

「広島」という一つの「すそ野」を持ついくつかのトップスポーツクラブがネットワークをつくり、広島県のスポーツ全体を盛り上げていきたいという願いを込めました。「トップス広島」の名前が、県民・市民の皆さんに親しまれるよう努力していきます。

マークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



NPO法人 広島トップスポーツクラブネットワーク

事務局 〒734-0007 広島市南区皆実町2-8-42

TEL: 082-254-2012 FAX: 082-251-5712 <http://www.tops-h.net/>

